

事業名	農福連携トレーナー育成事業		
団体名	特定非営利活動法人 農スクール	担当課名	農業水産課、地域包括ケアシステム推進室
事業期間	2019年(平成31年)4月1日～2020年(令和2年)3月31日		
事業費	2,222,305円(うち藤沢市負担金1,930,040円)		
目的	<p><事業の目的> 担い手不足の課題を抱え、障がい者等の就農が注目されている農業分野と、就労の受け皿や、健康・生きがいづくりのための農業という視点が注目されている福祉分野が、相互の理解を進め、適切にマッチングが図られるよう、農福連携の周知・啓発を行うとともに、実践者を養成する。</p> <p><協働の目的> 市の公共性を生かし、広報や会場の確保等を行う。また、行政の視点から、農業・福祉の理解を深める啓発を行うとともに、参入の際の手続きや法律・制度等を伝えることで、実践する際のハードルを下げる。</p>		
目標	多くの方に農福連携に興味をもっていただくとともに、福祉と農業の両方に精通し、農福連携の事業のノウハウを学ぶ人材を養成し、農福連携の実践者を増やす。		
達成度・成果・効果	<p><事業の達成度> 団体 85% 担当課 80% ・オープン講座へ400名を超える方の参加があり、農福連携について制度や取り組みについて詳しく知っていただけたと思う。また連続講座への参加も当初の予定人数を超え、受講された方の中には農業者、福祉関係者、さらに受講後農業分野に就職された方もおり、日々の実践に役立てて頂けると思う。 ・連続講座は、次年度以降の実践につながるよう、受講者のやりたい農福連携をどのように具体化するか、検討を進めることができる講座となった。</p> <p><協働の達成度> 団体 80% 担当課 80% ・活動場所の確保や広報の面では、市の公共性を生かした協力ができた。また、市単独で講座を実施するよりも、実際に活動している法人の視点と、制度や法律にもとづく市の視点の両面を持つ講座となったことで、「やりたいこと」と「とるべき手続き」の両方がわかる、今後につながる講座になったことが協働した最大の成果だと考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講演会チラシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>上：連続講座(座学)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
課題・対応策	連続講座やオープン講座の際の役割分担はあいまいなところがあった。今年度は初めてということで、必要なときに必要なことを、お互い柔軟に、押し付けあうことなく進めることはできたが、継続して繰り返し行う場合には、タスク一覧を作成して常に確認しあうなど、役割分担をしたほうが漏れがないと感じた。		